

## 平成25年度 世界史A・世界史B (50分)

## 注 意 事 項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけない。
- 2 出題科目、ページ及び選択方法は、下表のとおりである。

出題科目	ページ	選 択 方 法
世界史A	1～28	左の2科目のうちから1科目を選択し、解答しなさい。
世界史B	29～52	

- 3 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせること。
- 4 試験開始前に、監督者の指示に従って、解答用紙の該当欄に以下の内容をそれぞれ正しく記入し、マークすること。

## ・①氏名欄

氏名を記入すること。

## ・②受験番号、③生年月日、④受験地欄

受験番号、生年月日を記入し、さらにマーク欄に受験番号(数字)、生年月日(年号・数字)、受験地をマークすること。

## ・⑤解答科目欄

解答する科目名を○で囲み、さらにその下のマーク欄にマークすること。

- 5 受験番号、生年月日、受験地が正しくマークされていない場合は、採点できないことがある。
- 6 解答科目が正しくマークされていない場合は採点できないので、必ず正しくマークすること。
- 7 解答は、解答用紙の解答欄にマークすること。例えば、

10
----

と表示のある解答番号に対して②と解答する場合は、次の(例)のように解答番号10の解答欄の②にマークすること。

(例)

解答 番号	解 答 欄			
10	①	②	③	④

- 8 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけない。
- 9 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってよい。

注意事項は裏表紙に続きます。この問題冊子を裏返して必ず読むこと。

ただし、問題冊子を開いてはいけない。

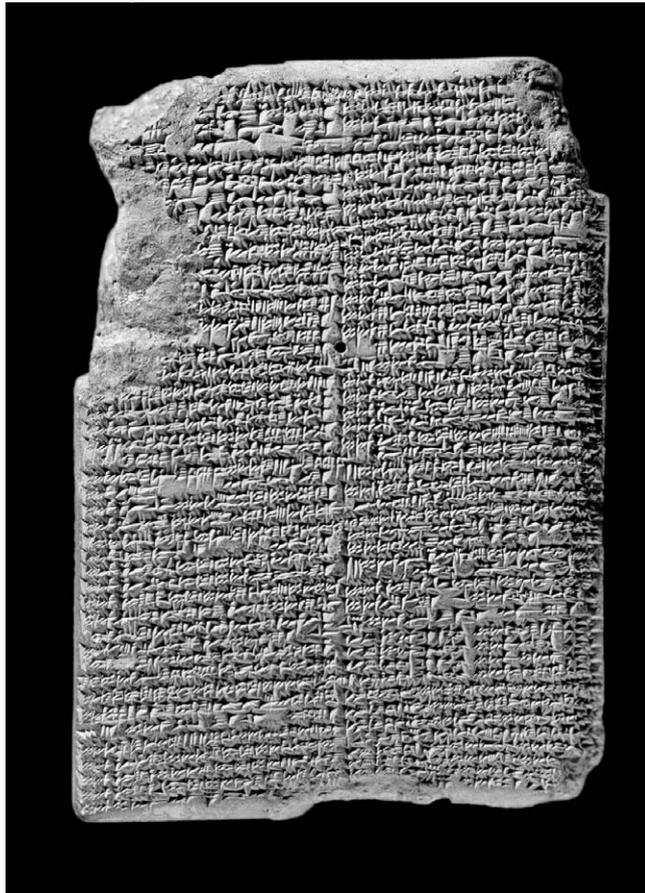
## 世界史 B

(解答番号  ~ )

1～3の文章と図版に関連して、問1～問7に答えよ。

1 人がある一群の星々をまとめて星座として表現するようになったのは、おそらくは星の配置をわかりやすく記憶するためであった。古代メソポタミアで初めて生まれたとされる星座は、<sup>(a)</sup>天球上の太陽の通り道である黄道付近の星々を結びつけてつくられた。これらの星座は、後のアケメネス朝ペルシアの時代には、さそり座やしし座などで知られる黄道12宮とよばれる星座群にまとめられ、太陽やその他の天体の位置を示すのに利用された。

一方古代インドでは、<sup>(b)</sup>神々への賛歌を集めたヴェーダが存在したころにはすでに星座が知られていたらしい。インドの星座に関する知識は、神々への祈願のための呪文を集めた「アタルヴァ=ヴェーダ」に見られる病気治療のための呪術などと結びつき、これがインドにおける占星術として体系化されていった。



古代メソポタミアの星座に関する記述がある「ムル・アピン」粘土板  
(大英博物館蔵)

問 1 下線部分<sup>(a)</sup>古代メソポタミアのようすについて述べた文として適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は  。

- ① 儒家や法家などの諸子百家が登場した。
- ② シュメール人により都市国家がつけられた。
- ③ シパーヒーの反乱がおこった。
- ④ 西欧化を進めるタンジマートが行われた。

問 2 下線部分<sup>(b)</sup>古代インドの遺跡を、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は  。



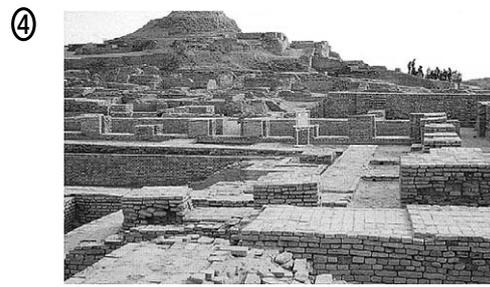
ペルセポリス



ピラミッド



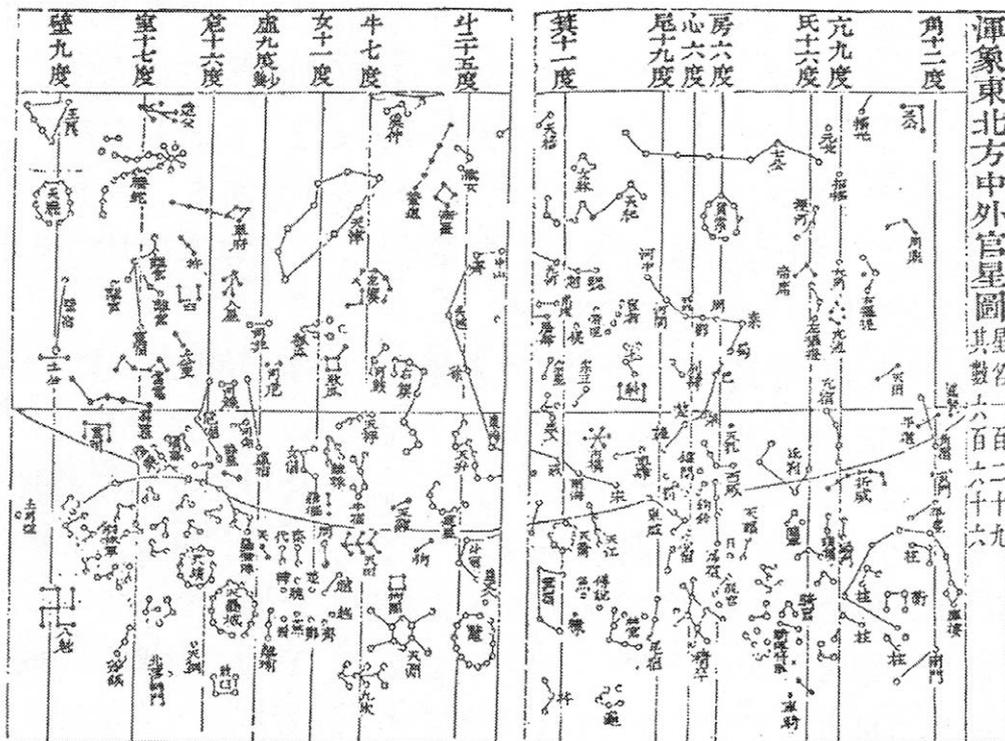
万里の長城



モエンジョ = ダーロ

2 古代中国では、すでに春秋時代には黄道に沿って28個の星座が知られており、これらの星座には「角」や「房」<sup>(c)</sup>、そして「昴」<sup>すばる</sup>など漢字一文字の名前がつけられている。このような星座の知識は中国から日本にも伝えられたらしい。

星座に関する知識が初めて本格的に記述されたのは、前漢の時代に記された歴史書『史記』の中の天官書においてである。この中で星座の名は官廷の官職や組織などからとられている。また唐の玄宗の時代に編纂された占星術書『開元占経』においては、300近くの星座が示されている<sup>(d)</sup>。そして宋代には、水力による巨大な天文時計を作成したことで知られる蘇頌そしやうにより、科学的な初の星図『新儀象要法』が著わされた。これは印刷された星図としては世界最古とされる。



『新儀象要法』の星図

問 3 下線部分春秋時代のようすについて述べた文として適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は  。

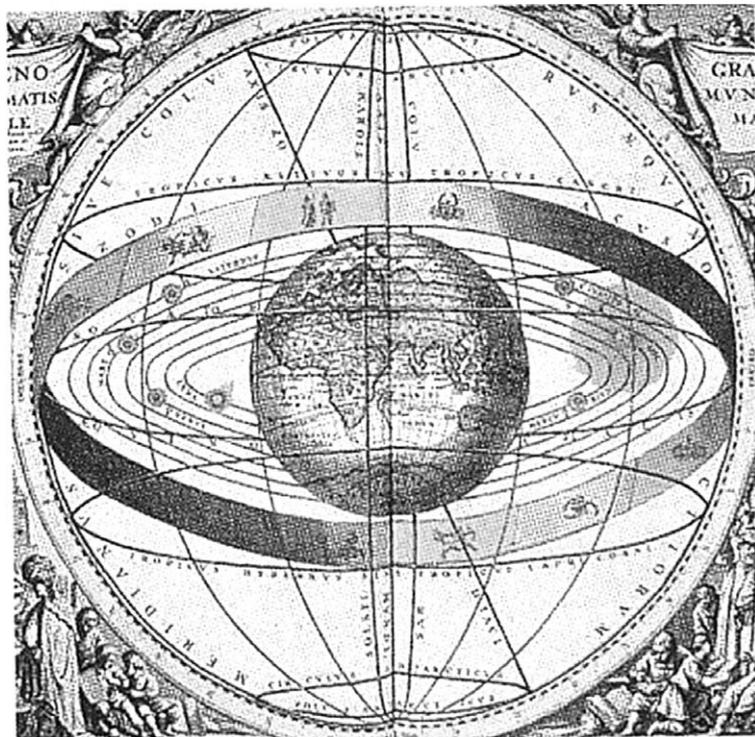
- ① 鉄製農具が使われ始めた。
- ② 日朝修好条規が結ばれた。
- ③ 勘合貿易が行われた。
- ④ 均田制が導入された。

問 4 下線部分唐の玄宗の時代のようすについて述べた文として適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は  。

- ① ビスマルクが鉄血政策をすすめた。
- ② 人民公社が組織された。
- ③ 人権宣言が採択された。
- ④ 安史の乱がおこった。

3 星座はオリエント世界からギリシアに伝わり、**A** の叙事詩『オデュッセイア』において、主人公オデュッセウスが旅の道標としてプレアデス星団やおおぐま座を利用していたことが語られている。

正確な天文観測による星々の研究は、ヘレニズム時代の紀元前2世紀まで待つことになる。<sup>(e)</sup>ロードス島で天文観測を長年にわたって行った天文学者であるヒッパルコス<sup>(e)</sup>は、48の星座とそこに属する多数の星々の明るさや色、形状などの特徴を記録している。このいわゆる「ヒッパルコスの星表」は、<sup>(f)</sup>ローマ帝国時代のアレクサンドリアで活躍したプトレマイオスの『天文学大全』<sup>(f)</sup>に引用され、17世紀に至るまでヨーロッパの天文学に関する最も重要な記述の一つとされた。



プトレマイオスの天球図

問 5 **A** に当てはまる人物を、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は **5** 。

- |               |         |
|---------------|---------|
| ① ガウタマ=シッダールタ | ② ナセル   |
| ③ ホメロス        | ④ ニュートン |

問 6 下線部分紀元前 2 世紀の世界のようすについて述べた文として適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は **6**。

- ① ドイツ帝国が成立した。
- ② 朝鮮半島に楽浪郡が設置された。
- ③ メディチ家がフィレンツェの実権を握った。
- ④ カンボジアにアンコール=ワットがつくられた。

問 7 下線部分ローマ帝国の最大領域(2 世紀)のおよその範囲を示す略地図として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は **7**。



2

1～2の文章と図版に関連して、問1～問6に答えよ。

1 トウガラシはアメリカ大陸原産の作物で、16世紀にヨーロッパを通じて世界に広まっていったといわれる。<sup>(a)</sup>オスマン帝国には比較的早い時期にもたらされたらしい。この時代はハプスブルク家がスペインとオーストリアを支配しており、まずアメリカ大陸からスペインにもたらされたトウガラシが、オーストリアからハンガリーを経由してオスマン帝国に持ち込まれた可能性が高いのである。しかし、オスマン帝国では大量にトウガラシを使用するような食文化は発達せず、現在のイスタンブール周辺でも辛みをきかせた料理はあまり好まれていないようである。

16世紀のインドではバーブルによって **A** が成立し、第3代皇帝アクバルの時代にはムスリムとヒンドゥー教徒の融和が図られ繁栄を迎えることとなった。トウガラシはこの頃にポルトガル人によってもたらされたらしい。現在のインドでは、トウガラシは料理に欠かせない存在であるとともに、邪悪な視線を除く力があると信じられている。

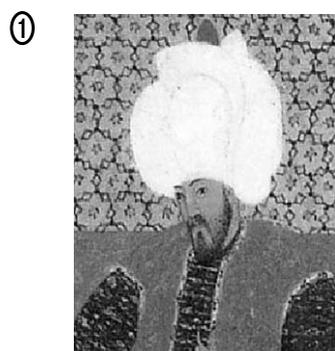


トウガラシを使ったインドの<sup>まよ</sup>魔除け

問 1 下線部分<sup>(a)</sup>16世紀のイランのようすについて述べた文として適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 。

- ① アパルトヘイト(人種隔離政策)が撤廃された。
- ② サファヴィー朝が成立した。
- ③ 宗教儀式をつかさどるバラモンが最も高い身分とされた。
- ④ ウラービー(オラービー)の反乱がおこった。

問 2 下線部分<sup>(b)</sup>オスマン帝国の最盛期のスルタンを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 。



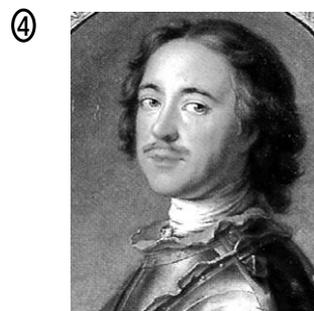
スレイマン1世



ルイ14世



乾隆帝



ピョートル1世

問 3  に当てはまる語句を、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 。

- ① コンバウン朝
- ② インカ帝国
- ③ パルティア王国
- ④ ムガル帝国

2 現在のアフリカでもトウガラシはよく利用されている。北アフリカではハリーサとよばれる調味料が使われる。これはトマトとニンニク、塩、オリーブオイル、それに赤トウガラシを練り込んでペースト状にしたもので、チュニジアが名産地である。エチオピアではインジェラという一種のクレープに、ワットというトウガラシで味付けしたおかずをつけて食べるのが一般的である。本来これはエチオピアの中央高地の料理であったとされ、中央高地を中心に発展したエチオピア帝国が19世紀後半に版図を広げるとともに各地に普及していったらしい。スーダンではトマトとレモンにトウガラシを加えたシャッタソースが名産で、中東向けを中心に輸出品となっている。スーダンでは19世紀後半にマフディーの反乱がおり、イギリスの将軍ゴードンが戦死した。ゴードンはかつて中国で常勝軍を率いて洪秀全を指導者とする **B** と戦った人物である。



インジェラの上に置かれたワット

問 4 下線部分エチオピアの19世紀末から第一次世界大戦前までのようすについて述べた文として適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は **11**。

- ① 東学信徒を中心とする甲午農民戦争がおこった。
- ② オランダによって強制裁培制度が実施された。
- ③ イギリスとの間にアヘン戦争がおこった。
- ④ 欧米諸国によって植民地化されずに独立を保った。

問 5 下線部分19世紀後半の1885年にインドで結成された機関から発展し、後にインド人の地位向上をめざす政治運動を展開した団体を、次の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号は **12**。

- ① 国民会議派
- ② ジャコバン派
- ③ ファシスト党
- ④ ボリシェヴィキ

問 6  に当てはまる語句を，次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は  。

① マラータ同盟

② 太平天国

③ バープ教徒

④ 西山(タイソン)党

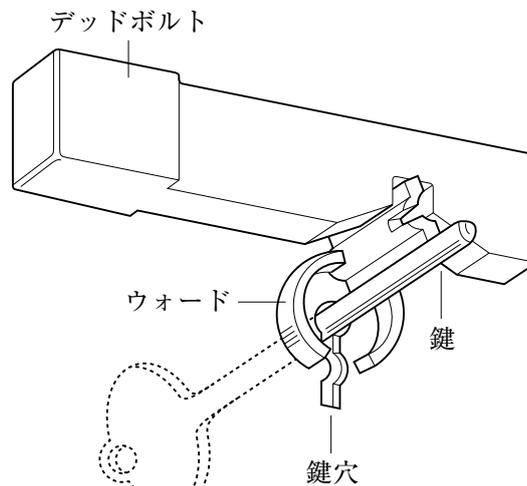
B

3

1～2の文章と図版に関連して、問1～問6に答えよ。

1 錠前<sup>じょうまえ</sup>は人間の暮らしや財産を守るため誕生したと考えられ、紀元前2000年ころより世界各地にみることができる。中世以降のヨーロッパで多く作られたウォード錠は、錠の中に障害物となる突起(ウォード)があり、その突起をさけた形状をした特定の鍵のみが回転でき解錠できる仕組みのものである。これは防犯性能を高めることより趣味としての性格もあり、必ずしも実用的なものではなかった。

ウォード錠は、堅牢なドイツ<sup>(a)</sup>のものと、華麗な装飾と繊細な仕上げを特徴としたフランスのものがあった。18世紀後半<sup>(b)</sup>に勃発したフランス革命で処刑されたフランス国王 **A** は、錠前づくりを趣味とした。それは、パズルのようなウォード錠のアイデアと、それに合う鍵の加工に魅せられたためである。ウォード錠は、今日では<sup>たんす</sup>箆筒や<sup>かばん</sup>鞆などに用いられているごく簡単なものを除いて、ほとんどみかけなくなっている。



ウォード錠の構造

問 1 下線部分ドイツの 19 世紀のようすについて述べた文として適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 。

- ① 統一と憲法制定をめざしてフランクフルト国民議会が開かれた。
- ② ウェストファリア条約によって三十年戦争が終結した。
- ③ スキタイが遊牧国家を形成した。
- ④ 東遊(ドンズー)運動が展開された。

問 2 下線部分 18 世紀後半の世界のようすについて述べた文として適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 。

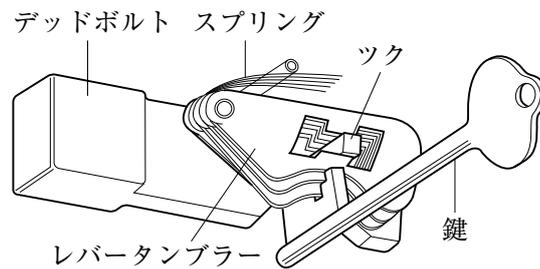
- ① ルターが九十五カ条の論題を発表した。
- ② 張騫が西域に派遣された。
- ③ ジェファソンらが起草したアメリカ独立宣言が採択された。
- ④ フラグがアッパース朝を滅ぼした。

問 3  に当てはまる人物を、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 。

- ① アッパース 1 世
- ② アウラングゼーブ
- ③ エリザベス 1 世
- ④ ルイ 16 世

2 18世紀後半にはじまる産業革命は、錠前にも大きな影響を及ぼしていく。この時代のエンジニアの優れたアイデアと精度の高い工作技術によって、大きな変化がみられなかった手仕上げのウォード錠から脱却して、錠前は一気に本格的な工業製品としての姿をみせはじめる。

産業革命が進んだイギリスでは、多くの錠前のアイデアが出まわったが、その代表的なものが、ジェレミア=チャブが19世紀前半に特許を取得した、レバータンブラー錠であろう。これは、鍵先がケースの中で複数のレバータンブラーを持ち上げながら回転して、施錠したり解錠したりする仕組みになっている。今日では、より優れたシリンダー錠の出現により、レバータンブラー錠は一部の引き戸用錠などを除いてみかけなくなっている。



レバータンブラー錠の構造

問 4 下線部分<sup>(c)</sup>産業革命について述べた次の(ア)・(イ)の正誤を判断し、その組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 。

(ア) ワットが改良した蒸気機関が動力に利用された。

(イ) グーテンベルクが活版印刷術を改良した。

① (ア)―正 (イ)―正

② (ア)―正 (イ)―誤

③ (ア)―誤 (イ)―正

④ (ア)―誤 (イ)―誤

問 5 下線部分<sup>(d)</sup>イギリスで 16 世紀末から 17 世紀初めにかけて活躍し、『ハムレット』『ロミオとジュリエット』などの作品を残した人物を、次の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号は 。

① ホメイニ

② セシル＝ローズ

③ モンテスキュー

④ シェークスピア

問 6 下線部分<sup>(e)</sup>19 世紀前半にはラテンアメリカで独立運動がさかんになった。その独立運動の中心となった植民地生まれの白人を、次の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号は 。

① 華 僑

② クリオーリョ

③ カルボナリ

④ ピューリタン